

1. プログラムの問題点・課題点

2. グッドプラクティスの事例

1. TMDU Dental Training Program の実施

タイ、インドネシア、ベトナムの交流大学から歯学部学生を各国 8 名ずつ、計 24 名を同時期に 2 週間受け入れ、英語による歯科研修プログラムを実施した。このプログラムでは日本人学生との交流、小グループに分かれた基礎・臨床分野における研修、歯科関連企業の見学等とともに、歯科領域の専門教育の基礎となる歯型彫刻やワイヤーベンディングに関する日本人学生を含めた 4 ヶ国の学生による実習コンテストも行い、実践的なプログラムとなった。

2. グローバルリトリートの実施

タイ、インドネシア、ベトナムからの学部学生、本学の学部学生、大学院生、留学生、教職員も合わせ合計 58 名が参加するグローバルリトリートを開催。2 泊 3 日の間寝食を共にする中、英語による講義、ワークショップ等の研修、文化交流プログラム等を通し密度の高い交流をしたことで、学生の英語力やプレゼンテーション能力、専門知識・技術の向上だけでなく、国際交流への関心が高まり、将来の国際医療人の育成につながることが期待できた。

こうした学生の交流プログラムを実施した結果、派遣前に比して学生の国際交流への関心が高まり、より多くの英語による教育を希望する学生が増加したことが参加学生による報告書から明らかになった。また、交流の中で同世代の学生同士が友人となり、facebook 等を通して今後もこのような交流を継続したいと希望するようになったことは、将来の医療ネットワークの構築に向けた大きな成果と考えられる。

--